下

繪事比肩巻之下

樊噲

前漢の高祖に従ひて
天下を定し軍功あり
楚の項羽鴻門に会して
高祖をころし時盾を
持て飛入主を助かゝり
しかり

朝比奈三郎義秀
義秀ハ和田義盛が三男
なり承久の後ニ実朝
の御所の惣門を打破り
南庭ニ乱レ入て戦ふ
向ふ所敵なし
後舟ニて海上ニ
浮び逃る
所を
志らず

孔明

蜀志に曰孔明南陽に隠居せし時劉玄徳三たび草廬を顧みて謀をとひて孔明が功によつて天子の位にのぼり孔明を丞相に任ぜしなり

楠正成

名ハ多門兵衛
河内の人宅邑に
楠樹あり因て氏となせり
智勇謀略古今の名将
なり元弘建武の為軍功
あり湊川において戦死を
建武の年三位中将と
なる

關羽

字ハ雲長蜀の玄德ニ随ひ軍功あり其性仁心ニして春秋を好しところや千歳の後佛法を守護し威霊を玉泉山ニあらハせしといへり

新田義興
左中将義貞公の
庶子勇気甚し
延文年中竹澤か
の党十三人に謀られ矢口
の渡りにて溺死せり其後
義興ハ雷電となり竹沢党
を撃死せり其霊今に至て盛
なり

鍾馗

逸史曰唐の玄宗元日の夜夢に一ツの小鬼帝の玉笛を盗む又ま破れる帽をいたゞき藍袍を着たる人来りて彼小鬼を捉へ擘きて是を食ふ帝名をとへバ答て終南山の進士天下の妖魔を除くといへり覚さめて玄宗呉道子といへる画工に命じ其状を画かせ給ふなり

菅丞相

菅家ハ是善の子なり儒家よりおこりて大納言右大将より後右大臣にいたる左府時平の讒によりて太宰権帥に左遷せられ延喜三年二月廿五日配所に薨ず其の霊法性房の許に到りこれ鳴雷となりて怨を報ぜんとす師加持を加ふるゆゑそれとく柘榴を噛て妻戸に吹つけ給へバもえあがりぬ後大政大臣を贈らる

布袋

後梁の貞明二年に出る名ハ寂和尚といふ
つねに酒をのミ猪肉をくらひ布の袋を荷ひ童子を引つれ楽てせり
世に呼ぐ弥勒の化身といふ

一休和尚

名ハ宗純一休と号ス後小松
乃帝の庶子なり世に住ス是
虚堂の後身なり勅をうけて
宝山妙勝寺ヲ再住し
文明十三年十一月廿一日八十八まて遷化ス
極楽をいつくの程とおもひしに
杉葉たてたる与茂作が門

鳥山石燕豊房筆

目録

粉画 鳥山彦 全二冊 出来

画圖 百鬼夜行 全三冊 出来

同 後編 全三冊 近刻

繪本 水滸画潛覽 全三冊 出来

同 後編 全三冊 近刻

繪事比肩 全三冊 出来

同 花鳥之部 全三冊 近刻

同 山水之部 全三冊 近刻

繪本ありやせい 近刻

鳥山石燕豐房筆

校合門人　子興　月沙

繪事比肩續編　近刻　燕十

彫工　町田助右衛門

江戸書林　前川六左衛門

本銀町三町目　前川弥兵衛

安永七戊戌春

文化二乙丑年求板